

第一工業大学六次産業化研究会

(鹿児島県霧島市)

活動の概要

- 第一工業大学の教員、学生及び関連事業者が主体となり、霧島市や農協、高校と連携し、地元の農産物を使用した新商品の開発・研究を行い、地域農業の活性化を通じた地域おこし活動に取り組んでいる。
- 林野庁主催の新商品コンテストに、霧島産しいたけを使用した商品「霧島さん家のグラノーラ」を応募し、大賞を受賞した。
- 地元生産者や事業者からの相談依頼を受け、アイデアの提供や加工方法・マーケティング手法等の技術提供、ワークショップの開催等をおこない、六次産業化商品の開発支援、地産地消活動に取り組んでおり、学生はこれらの活動により、農地見学や農業活動を経験する機会を得、また、現場の声を聞き、学びを得ている。
- 鹿児島県内の中学校・高校への出前授業、オープンキャンパス、付属幼稚園の親子講座等で六次産業化を体験できる場所の提供など、これからの地域を担う世代への教育活動にも取り組んでいる。

背景・経緯

- 平成27年4月 第一工業大学が霧島市と包括連携協定を締結。
- 平成28年3月 第一工業大学があいら農業協同組合及び霧島市と産学官連携協定を締結。
- 平成28年 料理研究家の木田マリ氏と共同したきのこを使った学食メニューを開発。
- 平成29年 地元のキクラゲ農家向けに、キクラゲを使った商品開発に関するワークショップを開催。
- 平成29年「霧島ガストロノミー推進協議会」発足。地元生産者や料理人、事業者らと共同して活動。
- 令和元年度「原木しいたけと植物工場野菜のプレッツェル」を開発。



左：霧島さん家のグラノーラ

右：原木しいたけと植物工場野菜のプレッツェル

親子クッキング教室

農家と開催した島唐辛子の苗植え体験会